

令和3年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 曾根東 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

(1) 教科に関する調査(国語, 算数)

教科に関する調査(国語, 算数)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

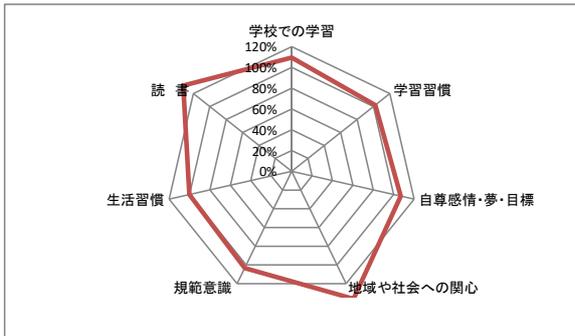
(1) 全国・本市の学力調査(国語, 算数)の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.8	63	11.0	69
全国	9.1	65	11.2	70

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	全国平均と同程度である。無回答率は低い。説明文において文章全体の構成を捉えたり、文章の中での語句の使い方を問う問題はよくできている。しかし、記述式問題の正答率が低く、自分の考えを適切な文で表現する力に課題がある。	全国平均正答率との比較 同程度である
	よくできた問題	思考に関わる語句の使い方を理解し、その使い方として適切なものを選択する問題	
	努力が必要な問題	目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する問題	
算数	全体的な傾向や特徴など	全国平均を上回った。全体的に無回答率も低い。どの領域の問題にも粘り強く取り組むことができている。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	棒グラフから数量や項目間の関係を読み取る問題	
	努力が必要な問題	二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを記述する問題	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> ・地域や社会への関心が、全国平均と比べ著しく高い。環境教育を通して、地域の魅力に触れ、地域の方を会おう授業を行ってきた成果だと考える。 ・読書量は、全国平均より著しく高い。 ・学習習慣において、学校の授業以外で1時間以上学習している児童の割合が少ない。全校で自主学習ノートに取り組んでいるが、今後も継続が必要である。 ・学校での学習において、「話し合う活動で、友達の考えを受け止めて自分の考えをしっかりと伝える」「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできた」の割合が高く、全国平均を大きく上回った。本校の研究において、『対話的な学習の工夫』や『教科横断的なカリキュラムマネジメントを意識した授業』を積極的にやってきた結果だと考える。 ・本校の長年の課題であった自尊感情に関する質問「自分にはよいところがあると思う」と答えた児童は、全校平均を大きく上回った。今後も、学校や学級への有用感を高めて

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

○学力向上に関する職員研修の取組①学力状況調査で明らかになった課題等を全職員で共通理解した。②スクールプランの見直し
 ○学力向上のための特設時間の実施…朝の活動時間(8:40-8:55)の取組(月曜…読書タイム、木曜…1・3・5週国語タイム2・4週算数タイム)
 ○学習スタイルの共通化…めあて・まとめの提示と振り返り時間確保、ノート形式、振り返りの視点、ソネットケース等についての共通理解
 ○理科・音楽の専科授業 ○思考の視覚化(ICT機器、ホワイトボード、思考ツール等)によるどの子にも分かる授業づくり

② 家庭生活習慣等に関する取組

○家庭学習定着のために…「菅根東小学校オリジナルの自主学習ノート『そなうとノート』」に全校で取り組む。
 ○生活リズムが整った健康的な生活づくり①学校だよりや保健だより等で家庭へ啓発を行う。②夏季・冬季休業日中の生活リズムカードに全校で取り組む。
 ○自尊感情を高めるための取組①児童主体の活躍の場を設定する。②0のつく日あいさつ運動③「子どもつながりプログラム」の活用